

① 実態把握シート

D 班

学校の課題

今年度の研究お

学習意欲 低い
学び合い 意欲 (主体的に)
学び合い 協働 児童主体

意欲 Δ

自分の考えを話す
ことができない
話し合い 説明しにくい
苦手
話すことが苦手
説明(わかりやすく)

↓変化あり
教師主導 → 児童主体
めり出せない

かけられない!

国語科

学習意欲
バラつき ⑨

みんなが学ぶ意識
弱い
学びの実態

子ども達の意識 ↓

思考の深まり X

道徳・学活などの授業
うまく使っていない
いきたい!

どの教科でもナライ
(道徳はキリキリ)

特に国語ナライ

国語のやりかた...

算数科

研究の効果は
あるが...

高める
以.学組力
マナート
模範授業
道徳 (大切に)

話すのも
おもしろい

話す
わかる。

基礎基本 計算
数量関係 Δ

数量・図形 についての
技能

幾何図形 76.7%

記述・考え方

数学的思考 Δ

記述式 Δ

考える
たたく
課題

思考力

政経成語漢字など基幹
なりの定着が不十分

2つの資料を比べて特徴
を読みとれない

書力が不足

自分の立場や考えを
明確にして表現できない

話し合い
染... X

話し合い 機会 X

南東... 書ける...
思っている

課題をまとめると...

話すことに抵抗がある児童が多い。

次のステップ
ゴール (児童主体
思考の深まり)

研究主題

主体的に学び合う ～学ぶ楽しさを味わう授業～

研究教科

小学校(国語)算数

中学校:全教科

目指す子供の姿

- ・自ら考え、主体的に取り組む子
- ・友だちとゆめわり合いながら学びを深める子
- ・根拠や筋道を明確にし説明する子

目指す授業像

児童主体の授業
(アクティブラーニング)

ふり返り

研究の重点(柱) 2つ～3つ

A 授業改善

B 学級づくり

C

A: 授業改善の視点(3つ程度)

- ① 課題設定と提示の工夫
- ② 学習形態などの工夫による学び合いの充実
- ③

※以下は、上記の重点A:「授業改善の視点」の中から1つまたは2つ選び検討してください。

A: 授業改善の視点に対する教師の具体的手立て

1番

ねらいを明確にする

課題を工夫 (必然性 考えたい問題 必要感)

提示の工夫

A: 授業改善の視点に対する教師の具体的手立て

2番

発問部会

⇒ 模擬授業

学び合いを
2-テキスト

深める発問
ゆめわり発問
問い返し

月	内容	
4月	研究方針の提案	目指す授業像の共通理解 教職員、児童とも
5月	模擬授業	研究授業 ₁ 模
		学力向上プランの見直し
6月	模擬授業	要請訪問 ₂ 模
7月	模擬授業	研究授業 ₃ 模
8月	検証	講師招聘
		学力調査の自校採点
		学力調査の結果分析
		学力調査問題の出題傾向の把握
		先進校視察・報告
9月	模擬授業	研究授業 ₄ 模
		学力向上プランの策定
10月	模擬授業	研究授業 ₅ 模
11月	模擬授業	計画訪問 ₆ 模
12月	検証	先進校視察・報告
1月	研究の成果課題	
2月	次年度の方向性を提案	先進校視察報告
3月	次年度の計画	